



令和2年度 学校教育活動に対するアンケート集計（保護者）

知夫村立知夫小中学校

このアンケートは、今年度、知夫小中学校が「学校教育目標：未来を切り拓く、心豊かでたくましい知夫の子どもを育成する」や「めざす子ども像：自ら学ぶ子ども（創造）・共に生きる子ども（共生）・たくましく生きる子ども（自立）・ふるさとを愛する子ども（愛郷）」を実現するために実施してきた学校教育活動について、保護者の皆様のご意見をいただくために行います。アンケート結果を参考に、来年度に向けての話し合いを行い、より良い学校づくりにつなげていきますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

なお、答えにくい項目については答えられる範囲内で結構です。

A: そう思う B: まあまあそう思う C: あまりそう思わない D: そうは思わない ★: わからない

A: 4点 B: 3点 C: 2点 D: 1点 ★: 0点(母数より除く)

平均 3.1以上 → おおむねよい  
 平均 3.0 → まあよい  
 平均 2.6以上2.9以下 → あまりよくない  
 平均 2.5以下 → よくない

令和2年  
12月実施  
集計: 24/30  
(回収率80.0%)

No.	項目	A	B	C	D	?	R2	R1
1	子どもは、学校に喜んで通っている。	15	13		2	1	3.4	3.4
2	子どもは、元気よく挨拶をしたり、場に応じた適切な言葉遣いをしたりしている。	10	21				3.3	3.1
3	子どもは、課外活動（ソフトテニス交流会（中）、陸上記録会（小）や全陸岐駅伝（中）、や部活動（中）等）に積極的に参加している。	17	6	1	4	3	3.3	3.6
4	子どもは、家庭学習の時間を確保し、学習習慣が定着している。	9	15	8	1		3.0	3.1
5	子どもは、学校で配布された文書をきちんと渡している。	18	7	5	1		3.4	3.2
6	子どもは、テレビやマンガ、ゲームやインターネットに対して節制しようとしている。	6	13	8	4		2.7	2.8
7	学校は、「学校教育目標」や「めざす子ども像」の実現を目指し、特色ある教育活動を行っている。	12	4	2	1	5	3.4	3.1
8	学校は、わかりやすい授業やトライタイムを行い、成果を上げている。	8	6	2	2	5	3.1	3.1
9	学校は、子どものまちがった言動を適切に指導している。	12	5	3	1	3	3.3	3.1
10	学校は、子どものことについての相談について、家庭訪問や個人面談・三者面談等で適切に応じている。	16	6	2			3.6	3.3
11	学校は、課外活動（ソフトテニス交流会（中）、陸上記録会（小）や全陸岐駅伝（中）、や部活動（中）等）に対して適切に指導している。	11	4	1	2	4	3.3	3.6
12	学校は、家庭学習の習慣づくりに対して適切に指導している。	10	8	2		2	3.4	3.4
13	学校は、朝読書をはじめ、読書習慣が身につくよう指導している。	12	5	2		4	3.5	3.4
14	学校は、テレビやマンガ、ゲームやインターネットの時間に対して適切に指導している。	9	6	1	1	6	3.4	3.1
15	学校は、校報や学級だより、懇談や面談等によって、教育方針や学校の様子をわかりやすく伝えている。	18	5		1		3.7	3.2
16	学校は、来校しやすい雰囲気がある。	13	7	1		3	3.6	3.5
17	学校は、PTA活動や参観日等とおして、保護者や地域との連携・協力を大切にしている。	10	7	1	1	4	3.4	3.3
18	学校は、校内でのけがや体調不良に対して、適切に対応している。	15	5	1	1	1	3.5	3.5
19	学校は、子ども達の事故防止や防犯対策等の安全教育に対して適切に取り組んでいる。	11	7	1	1	3	3.4	3.4
20	学校の施設・設備等の環境は、満足できる状態である。	11	8		2	2	3.3	3.2
21	家庭では、「早寝・早起き・朝ご飯」等、子どもの規則正しい生活習慣に気を配っている。	11	12	1			3.4	3.5
22	家庭では、テレビやマンガ、ゲームやインターネットの時間、家庭学習の時間等について気を配っている。	9	14	1			3.0	3.0

# 令和2年度 学校評価の結果より

2学期に学校評価を行いました。保護者の皆様にはお忙しい中、ご協力いただきありがとうございました。アンケート集計結果を見ますと、概ね良い結果に見えます。しかし個々の記述を読ませていただきますと、新型コロナウイルス感染症に関するご意見がいくつかあり、その中には「今年度は学校のことがよく分からなかった。」というご意見がありました。学校では、校長の「学校経営方針」のもと、様々な教育活動が行われています。機会をつくって、発信していけるよう考えてまいります。またその他に、保護者の皆様からのご意見で課題としてあげられるのは、「児童・生徒のメディアの接触について」でした。教職員による自己評価と合わせて、今後は次のような取り組みを進めていこうと考えます。

## ①学力の向上

児童・生徒一人一人の課題を改善できるよう、分かりやすい授業を目指します。また、家庭と連携した取り組みも引き続き行います。学校は学期に一度「生活チェックシート」に取り組んでいます。チェックシートでは、家庭学習の時間とメディアの時間を調査しています。学級や個人のめあてをもとに、児童・生徒により良い生活習慣を指導していきます。

## ②相手を思いやる言葉づかい

「相手を尊重した言葉づかい」をテーマに、知夫小中学校の言葉づかいがどのようになるか、児童・生徒が考え続けています。小中一貫校で互いが近い存在の子ども達ですが、近すぎるがゆえの言葉づかいの乱れを感じる場合があります。「相手を尊重した言葉づかい」をもとに、各学級が目標を決めています。その目標を意識して生活できるよう、はたらきかけを続けます。

学校の日常の取り組みは、ホームページでも発信しています。ぜひ、ご覧ください。

この度児童・生徒副会長を務めることになりました。僕は、まず、学校全体が児童・生徒会に参加できるように『評議

後期児童・生徒会がスタートして二ヶ月が経ちました。中学部二年生は全ての生徒が役職を持ち、「開拓」の言葉をスローガンに立ち上げ、様々な取り組みを始めています。今回は、その中でも中心を担っている児童・生徒会執行部三名の児童・生徒会にかける思いを聞きました。

児童・生徒会長  
 私が目指す学校は、みんながお互いを認め合いあたり前のことができる学校です。あたり前のこととは、挨拶、掃除、言葉づかいに気を付けて生活することや、委員会の仕事やクラスの係活動を責任をもってやりきることで、そのためには、私自身がみんなの良き手本となるように心がけていきたいです。

後期では、三年生を送る会他にも、新しい活動をたくさん取り入れて、様々なことに挑戦していきたいです。また、今までに先輩方が残してくれた素晴らしい学校の良き伝統や良いイメージを崩さないように、児童・生徒会を進めていきたいと思います。よろしくお願ひします。



児童・生徒朝会で話す会長

# スローガン 「開拓」 児童・生徒会役員の思い

の挑戦を進めていってほしいです。

下の写真は、執行部役員生徒と校長先生が一緒に給食を食べている様子です。執行部のこれからの取り組みについて熱心に語り合いました。会長を中心に、開拓



校長先生と話す議長（左手前）

議長になりました。学校の児童・生徒全員が、のびのびと楽しく過ごせる「民主的な学校」を目指したいと思います。そのために、学校に『意見箱』を設置したいと思っています。みんなの意見を聞き、できることは改善していきます。一步一步、みんなにとって、学校がより楽しい場所になるように活動をしていきたいと思っています。また、議長になったからには、児童・生徒会長、副会長をサポートし、各専門委員会としっかり連絡を取り合うことで、児童・生徒会活動がスムーズに進むように行動していきたいです。

## 児童・生徒会議長

会」を立ち上げたいと思います。一人一人の意見や要望を大切に、様々な活動に反映させていきたいと思っています。そうすることで、みんなが良い学校をつくっていききたいと思っています。また、執行部役員としての自覚を持ち、日々の生活で、挨拶などのふるまいでも、全校児童・生徒の手本となるような行動を心がけるようにしたいです。



民生委員さんと話す副会長